

第17回

原爆の図展

後援 文京区教育委員会 文京区原爆被害者友の会(文友会)



丸木位里・丸木俊 原爆の図 第10部「署名」より

特別企画 ヒロシマの被爆樹木 「ヒロシマへの誓い」上映 等

2021年 11.11木 ~ 14日 10:00~18:00 11月11日は午前11時より
11月14日は午後5時迄

文京シビックセンター 1階 展示室2
入場無料

都営地下鉄 春日駅 東京メトロ 後楽園駅

主催 「原爆の図」を見る会・文京
文京区千駄木 2-34-2-202 ☎090-4120-9366

来場された方々の感想文(2020年8月)より ▶ 今日、わたしはここにきました。わたしたちが生まれる前、こんなことがあったなんて知りませんでした。そして、べんきょうになりました。 ▶ 私が生まれたころには原爆とはどういうものか知らなくて、この展示とか学校の授業とかで知りました。すごく勉強になりました。折鶴も折りました。もうこういう原爆のない平和な世界にして欲しいです。 ▶ 高校生の息子と来ました。区内の小中高校生の多くが参加することを願っています。 ▶ 「原爆の図」は教科書で見たことがあります。今回の展示は「現代から切り離された悲劇」ではなく「現代と地続きの悲劇」なのだと感じました。 ▶ 核兵器廃絶の思いを多くの人が共有することをすすめていかなくてはいけないと感じています。 ▶ なんてこんなことをしたのか、何度も何度も胸の中で叫びました。 ▶ 毎年、考える機会を与えてくださり感謝します。平和についてこれからも考えることを忘れないようにしたいです。 ▶ 今日赤ちゃんの描かれている前で足が止まりました。ほんの数ヶ月しか生きることのできなかつた命…それを抱きかかえる母親の目線。これを繰り返すことのない様、私も声をあげなければと思いました。

第17回原爆の図展は、「リコー社会貢献クラブFreeWill」の寄付支援を受けています。

第17回 原爆回展

展示期間 2021年11月11日(木)～11月14日(日) 文京シビックセンター 1階 展示室2
展示内容 原爆の図・展示作品 「火」「少年少女」(原寸大レプリカ)
特別企画 ヒロシマの被爆樹木 核兵器禁止条約 「ヒロシマへの誓い サー口節子とともに」 上映
なお、「ヒロシマ・ナガサキ 原爆と人間」展示、他
関連図書、DVDがあります。

1945年8月6日と8月9日、広島と長崎に投下された二発の原子爆弾は15万人の死傷者を出し、二つの都市を全滅させました。原爆投下後の広島の惨状を目の当たりにした丸木位里、丸木俊夫妻はアメリカ占領下で殆ど原爆の報道が許されず、写真も数枚しか残されていない状況のなかで、自分たちの見た地獄のような光景を絵にして世界に訴えようと決意しました。今回展示する作品は第二部「火」第五部「少年少女」の2作品です。

第二部 「火」

ピカッ。青白く強い光。爆発、圧迫感、熱風。— 天にも地にも人類がいまだかつて味わったことのない衝撃。次の瞬間に火がついた。めらめらと燃えあがり、広漠たる廃墟の静寂を破って、ごうごうと燃えていったのであります。うつぶせて家の下敷きになったまま失心した人、気がついて抜け出ようとして、紅蓮の炎につつまれていった人。



第五部 「少年少女」

流れに沿い、頭を並べて水をしたい、そうして累々とつらなり死んでおりました。末期の水は、川辺までたどりついてもまだずっと下の方でしたから、水ものまずに息を引きとったのです。おとなたちの建物疎開の手伝いに子どもたちが動員されたのです。一クラス全滅、というクラスがたくさんあります。かわり果てた姿で抱きあっている姉と妹。からだにかすり傷一つないのに死んでいった少女もあります。

